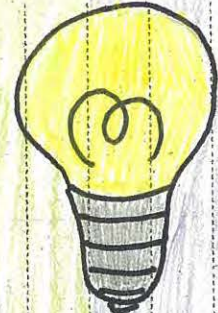


家庭の中でも身近な節電活動



身近な「節電」新聞

「節電」について学ぼう



新蟹江小学校
4年1組
遠藤 聖佳

発行日
平成25年12月18日(水)

東日本大震災

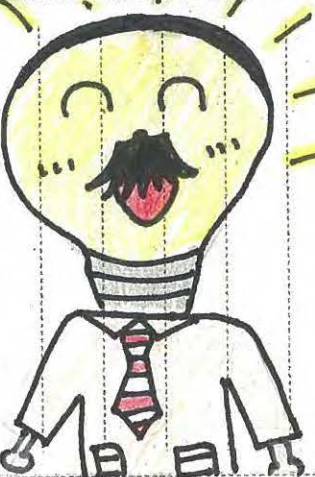
平成二十五年三月十日(金)に東北地方で東日本大震災がおきました。死者が何万何千人も亡くなり、けが人も多く、大変な被害になりました。



そのため、私たち一人ひとりがすぐに協力できることがいろいろあります。その中で、身近な場所での取り組みが、「節電」です。節電は家庭などの身近な場所での取り組みが活動です。私たち一人ひとりが

節電を心がければ、少しでも多くの節電ができます。

それに、家庭の中には、電気を使って利用する機器がたくさんあります。少しでも電気を使わないように心がけましょう。



電気博士

四コマまんが



自分ができてる、機器での「節電」！

節電の達人になろう！

エアコンの消し忘れがない。②冷房暖房をつけている部屋のとびらを閉め、はなしにしない。

冷蔵庫のとびらを開ける回数は少なくする。②とびらを閉めて、開けている時間を短かくする。

照明器具の点検。②点検の際、点検の明るい場所ではつけない。②部屋を明るくするときは消す。



テレビの見る番組を決める。②消し忘れないようにする。洗濯機の水をためて洗いをすすぐ。掃除機のかける前にお部屋の整理整頓をする。

その他、①日中の家事のスケジュールをたてる。②省エネ家電に買いかえる。

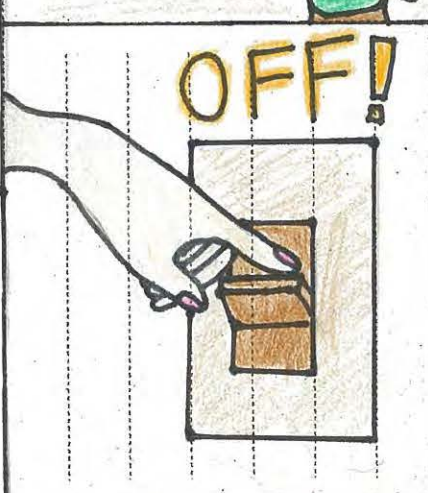
省エネ4カ条

その①必要なだけの温度や明るにする。

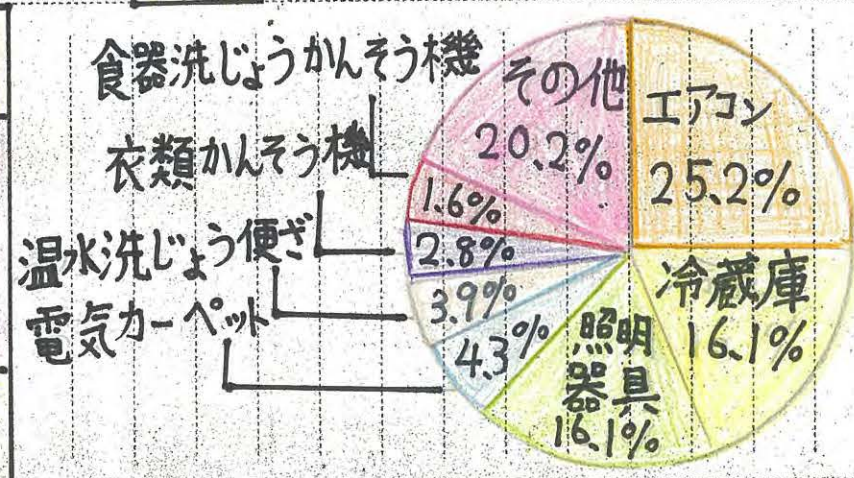
その②必要なときだけ使う。

その③必要な場所だけ使う。

その④必要なものだけ買う。まだ使えるものを捨てない。



世帯が一年間で使う電力量の内訳



感想

節電はわたしの家でもできるの、とてもいい活動だと思います。なので、これから電気をむだにせず、節電を心がけたいと思いました。

